

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	02474_01			
事業名(行目名称)		地域おこし協力隊推進費	細事業名	地域おこし協力隊推進事業				
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	地域コミュニティの充実				
	基本計画	地域再生への体制づくり	担当課	別子山支所				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	別子山地域住民		数値	130			
	手段(どうやって)	地域おこし協力隊員を3名採用し、別子山地域の自然を利用した魅力ある特産品からなる「別子山ブランド」を創出し、新たな移住者にも対応できる地域内の雇用先及び収入確保ができる事業の創出を通じて定住人口や交流人口の増加を図るため、地域おこし協力隊の活動費を行政が予算措置する。						
	目的(どんな状態にしたいのか)	人口減少及び少子高齢化の進行が著しい本市の別子山地域において、地域外の人材を積極的に誘致し、地域おこし協力隊を設置し、地域力の維持及び強化並びに地域の活性化を図るとともに、その人材の定住及び定着を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額	報酬3名分 7,847千円 共済費 1,332千円 旅費 390千円 需用費 735千円 使用料及び賃借料 1,261千円 ほか		
経費		9,513	11,914	11,914	8,089			
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
一般財源		9,513	11,914	11,914	8,089			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度	
任期終了後の定住者数(累計)			目標値	3	4	5	5	5
			実績	3	3	4	4	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	重点化する					
現在までに別子山地域に導入した地域おこし協力隊は累計で8名となっており、退任した6名のうち4名は引き続き市内に定住している。(令和3年9月末時点)								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大					
過疎化が進み若年・中年層の人材が不足する別子山地域において、地域の活力維持・強化および人材の定着を図るため、協力隊を増員する。								
VI 事後評価								
成果		総合評価(令和3年度)	C:事業規模・内容・実施主体の見直し検討					
令和3年度は、新規隊員2名が入隊し、3名で活動を行った。今後も関係機関と連携を図りながら、地域の活性化に取り組み、定住に繋げていく。また地域からの要望を考慮し隊員の増員を検討する。								

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2021	02474_02		
事業名(行目名称)		地域おこし協力隊推進費	細事業名	地域おこし協力隊推進事業補助金			
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ	施策	地域コミュニティの充実			
	基本計画	地域再生への体制づくり	担当課	別子山支所			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	地域おこし協力隊	数値	3			
	手段(どうやって)	平成26年度から別子山地域において導入された地域おこし協力隊の市営住宅家賃を補助する。また、起業(開業、就農など)に際し要する経費の一部を補助する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	地域おこし協力隊の市営住宅家賃、起業に要する経費の一部を補助することにより、日常経費の負担を軽減する。					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		528	624	624	400	家賃補助3名分 624千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	528	624	624	400		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
任期終了後の定住者数(累計)		目標値	3	4	5	5	5
		実績	3	3	4	4	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
現在までに別子山地域に導入した地域おこし協力隊は累計で8名となっており、退任した6名のうち4名は引き続き市内に定住している。(令和3年9月末時点)							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	拡大				
協力隊が円滑に活動できるよう家賃補助を継続するほか、令和4年6月で任期終了となる隊員に対し起業支援補助を行う。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和3年度)		C:事業規模・内容・実施主体の見直し検討				
令和3年度は、新規隊員2名が入隊し、3名で活動を行った。今後も関係機関と連携を図りながら、地域の活性化に取り組み、定住に繋げていく。また地域からの要望を考慮し隊員の増員を検討する。また、令和4年6月末に任期満了となる隊員に対して起業支援補助を行う。							

令和3年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2021	07193_01	
事業名(行目名称)		別子山未来プロジェクト事業費		細事業名	別子山未来プロジェクト事業補助金		
総合計画	まちづくり	人権・協働・社会教育・文化・スポーツ・コミュニティ		施策	地域コミュニティの充実		
	基本計画	地域再生への体制づくり		担当課	別子山支所		
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	別子山地域住民(別子校区連合自治会)			数値	130	
	手段(どうやって)	別子山REBORN未来プロジェクト事業継続のため、ランニングコストの一部補助					
	目的(どんな状態にしたいのか)	総務省交付金により平成26年度から開始した別子山REBORN未来プロジェクト(サトウカエデ育成事業・朝鮮人参栽培事業等)の継続					
III 投入費用							
実施年度		令和2年度 決算額(千円)	令和3年度(千円)			令和3年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース 借地料 60千円 報償費 80千円 需用費等 700千円 ほか	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		923	1,000	1,000	1,000		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	923	1,000	1,000	1,000		
	一般財源	0	0	0	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和元年度	令和2年度	令和3年度中間値	令和3年度	令和4年度
プロジェクトのうち、成果のあった事業 (販売実績等のあった事業)			目標値	2	2	2	2
			実績	1	1	0	0
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
朝鮮人参については露地栽培を中止し簡易ハウスを設置して一苗ごとのポット栽培に取り組み、翌年度以降の出荷を目指している。サトウカエデについては樹液採取(メーブルシロップ)に向けて園地の管理(除草、施肥等)を行っているほか、今年度から野菜づくりにも取り組んでいる。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
新しい別子山地域のブランド開発に向けて取り組んでいるが、朝鮮人参、サトウカエデともに成果獲得には一定期間を要することが想定され、今後は冷涼な気候を活かした野菜づくりにも取り組んでいくため、引き続き地域の活性化を支援する。							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和3年度)	B: 事業の進め方の改善検討				
朝鮮人参については、簡易ハウスを設置して一苗ごとのポット栽培に取り組んでおり、生産性の向上に期待される。今年度よりブルーベリーや野菜作りにも取り組んでいるが、出荷まで至っていない。							